

平成25年度 事業計画

少子高齢化、生産年齢人口の減少、子育てや介護の不安、多発する自然災害など生活を脅かす多くの要因が取り巻いています。このような状況の中、社会福祉協議会は地域福祉推進の中核的機関として、「互いに支え合い、安心して生活できる福祉のまち・篠栗づくり」に取り組んでいかなければなりません。

そこで、これらの時代の要請に対応しつつ、次の諸事業について、住民参加による地域福祉を推進してまいります。

地域福祉のなかでも小地域福祉事業に位置づけされる「ふれあい・いきいきサロン」や「ボランティア活動」の推進、要援護者の見守りとして乳酸飲料の配布、子育て支援事業として「ふれあい・子育てサロン」、レスパイトケア事業として「すまいるサロン」さらに今年度は、小学生以下の知的障がい児とその家族を対象とした「すまいるサロン・キッズ」、知的障がい児・者を対象とした「ふれあい・サタデー」など、知的障がい児・者の余暇活動を実施し、地域で支える仕組みづくりを推進してまいります。

また、在宅介護の負担軽減を目的とした家族介護教室や、ボランティアの担い手を育成する「地域デビュー講座」、「はじめての傾聴講座」、また男性ボランティアの人材確保と育成のための講座や、小学生には欠かせない福祉教育としての体験講座など引き続き実施し地域を支える人材確保に努めます。

介護保険・介護予防などの訪問介護事業につきましては、依然として厳しさが続きますが、利用者ニーズに沿ったサービス提供を実施できるよう、人材確保、研修による資質向上を図り、また、町の受託事業と社協の独自事業とを一体化による効率を図り、運営の健全化に努めていきます。

収益金を一般会計に繰り入れ充当している葬祭事業は、葬儀環境の変化により厳しい状況ですが、利用者のニーズに沿ったサービスの向上に努め、利用率の増加に努めてまいります。仏舍利殿納骨堂管理運営事業につきましては、老朽化対策として、本年度は納骨堂内の改修整備を計画し、利用者に安心してご利用いただけるよう努めてまいります。

重点目標並びに主な事業の実施計画は、次のとおりです。

I 重点目標

「地域のつながり、支え合いを実感できる仕組みづくり」を推進し、期待され、信頼される社会福祉協議会を目指す。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| (1) 安心して生活できる地域福祉の構築 | (2) 介護保険事業等の運営の健全化 |
| (3) 収益事業の充実強化 | (4) 運営基盤の強化 |

主 な 事 業 計 画 (抜粋)

安心して生活できる地域福祉の構築

○ふれあい・いきいきサロン

平成23年度 187回 参加者 5,831人

平成24年度 184回 参加者 6,268人見込

○ボランティア養成講座

・夏休み福祉体験教室

様々な障がいを理解するための体験学習等。

・はじめての傾聴講座

ロールプレイや実践を通して傾聴力を磨きます。

・ものづくり講座

家の中にあふれがちな包装紙や傘などを使って簡単にできるエコバック等を作ります。

・地域デビュー講座

これからボランティアを始めようという方への講座です。

・スポット講座

お手玉遊びやわらべ唄・バルーンアートなどを学びボランティア活動に活かします。

子育て支援

○ふれあい・子育てサロン (閉じこもり防止・仲間づくり)

○ぐりっこだよりの発行 月1回発行

○たのしい子育て講座

・幼児安全法 緊急時の対処法等学びます。

・父親向け子育て講座 子育てにどう関わっていくか学びます。

・抱っこ法講習会

親と子の心を繋ぎ育児の悩みなど解決していきます。

・ベビーサイン教室

子どもと親のコミュニケーションの取り方について学びます。

・ベビーマッサージ教室 親子のふれあいの時間を作ってもらいます。

障害者福祉

○すまいるサロン (余暇活動の場・レスパイト事業)

月1回開催予定

○すまいるサロン・キッズ (余暇活動の場・親子へのサポート)

月1回開催予定

参加対象者 小学生以下の知的障がい児とその家族

○ふれあいサタデー (社会参加・地域交流・仲間づくり)

年間 5～6回

参加対象者 知的障がい者等およびその家族

一般福祉サービス

○家族介護教室・交流会

・介護の技術、介護食を学び、介護者同士の交流会を行います。

仏舍利殿管理運営事業

○整備・維持の充実 (納骨堂内扉の改修など)

葬祭事業

○整備・維持の充実 (植栽帯の維持管理・館内照明整備など)

主 な 事 業 計 画

※新規事項又は重点事項

1 安心して生活できる地域福祉の構築

(1) ふれあい・いきいきサロン

(2) ボランティア活動

◆ ボランティアセンターへの依頼（活動数）

1,794 人（平成 23 年度）

1,760 人（平成 24 年度見込み）

○ 新規ボランティアの育成

※ ○ ボランティア養成講座

地域デビュー講座・夏休み福祉体験教室

はじめての傾聴講座・ものづくり講座

スポット講座（お手玉遊びやわらべ唄・バルーンアートなど）

○ ボランティア活動の支援強化…ボランティア連絡協議会への助成

(3) 児童福祉

○ 福祉教育読本の配付（小学校 5 年生）

○ 子ども育成会へ助成

○ 児童・青少年福祉事業へ助成

○ 福祉協力校への活動支援

(4) 子育て支援

※ ○ ふれあい・子育てサロン

○ ぐりっこだよりの発行

○ たのしい子育て講座

幼児安全法・父親向け子育て講座

抱っこ法・ベビーサイン教室

ベビーマッサージ教室

(5) 高齢者福祉

○ しるばア大学

○ 老人クラブ連合会へ助成

○ 老人クラブ（空き缶クリーン作戦）への助成

○ ひとり暮らしの高齢者等の見守り

乳酸飲料配布（70 歳以上）

※ ○ マッサージ・鍼灸への助成(65 歳以上)

○ 福祉餅つき大会

(6) 障害者福祉

※ ○ すまいるサロン

※ ○ すまいるサロン・キッズ

※ ○ ふれあいサタデー

○ 移送サービス事業

○ 紙おむつ配付

○ 歳末助成

○ 心身障害児・者親の会（栗の実会）へ助成

○ 身体障害者福祉協会へ助成

(7) 低所得者への福祉援助

○ 生活福祉資金貸付

(8) 一般福祉サービス

○ 家族介護教室・交流会

※ ○ 高齢者の集い(9 月 1 日（日）予定)

○ 心配ごと相談（毎月 2 回弁護士・司法書士・相談員）

○ 福祉バスの運行

○ 初盆供養供え物配付

- 福祉用具の貸出
- キャンプ用テント貸出
- 餅つき道具の貸出
- 体力測定用具貸出

(9) 広報活動

- 広報紙「社協だより」の発行
- ホームページでの情報発信
- 行事カレンダーの発行

2 運営基盤の強化

(1) 自主財源の確保

- 会員制度の推進
- 共同募金運動の推進

(2) 組織運営の機能強化

- 理事会・評議員会の充実
- 職員の資質向上

3 介護保険・介護予防・障害者自立支援事業の運営の健全化

(1) 介護予防・障害者自立支援事業

- 障害者自立支援事業に係わるホームヘルプサービス
(身体・知的・精神障がい児、者)
- 産後支援・家事援助に係わるホームヘルプサービス

(2) 介護保険事業（訪問介護）

- 広報・宣伝活動の強化（ホームページ）

※ ○ 人材確保

- ホームヘルパーの研修による資質向上
- 利用者ニーズに沿ったサービス提供
(サービス内容・提供時間の拡充)

4 収益事業の充実強化

(1) 衣裳貸出事業

- 着付け教室の開催
- 宣伝活動の強化（ホームページ・リーフレットの作成）
- 七五三衣裳などの充実

(2) 仏舎利殿管理運営事業

- 管理運営の検討
- 春・秋の法要
- ※ ○ 整備・維持の充実（納骨堂内扉の改修など）

(3) 葬祭事業

- 整備・維持の充実
(植栽帯の維持管理・館内照明整備など)

★ 平成 25 年度（予算）	事業収入	33,272 千円	}
	賃借料	7,580 千円	

一般会計へ繰入
(平成 25 年度予算)
2,000 千円

★ 葬儀件数

- ① 平成 23 年度 164 件〔天空会館 161 件(98%)、
自宅 3 件 (2%)〕
- ② 平成 24 年度（見込）
170 件〔天空会館 168 件 (99%)、
自宅 2 件 (1%)〕